

ユーグレナ社、第1回「サステナブルガストロノミーアワード」でアグリ部門賞を受賞！
～「循環型農業」と「食文化の価値向上」を両立。社会実装へと導く姿勢が評価～

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充）は、生産から消費までを捉えたフード・アグリテック領域の多様なプレーヤーが参画する「Sustainable AgriTech & FoodTech クラスター（代表事業者：一般社団法人 AgVenture Lab）」が創設した、第1回「サステナブルガストロノミーアワード（以下、本アワード）」において、当社の取り組みが「アグリ部門賞」に選定され、本日2月10日に表彰されたことをお知らせします。



当社は、「新バイオマスの5F」の考えに基づき、微細藻類ユーグレナを食料・飼料・肥料・燃料などの多角的な事業に活用をしております。今回の受賞では、その一貫した継続的な取り組みに加え、特に以下の2つの取り組みが、食文化の価値向上と社会実装の観点から高く評価されました。

「ユーグレナ育ち」※1制度による農業と食の価値向上

当社では、アグリ事業の一環として、ユーグレナを活用した肥料・飼料の開発・普及により、一次産業を取り巻く社会課題の解決と生産物の品質向上・生産性改善の両立を目指しています。今回の受賞にあたっては、ユーグレナを活用した有機肥料の開発と普及による化学肥料依存の軽減と、その成果のひとつとして、「ユーグレナ育ち」認定を受けたブランド米である株式会社まつえんどの

「ぴかまる」が国際的な食味コンクールで高く評価されたこと※2が、農業を起点に食文化の価値を高め、いく本部門の考え方を象徴する取り組みとして認められました。



「藻活プロジェクト」による社会実装と健康のグローバル展開

複数企業とともに運営する「藻活プロジェクト」では、藻類を日常の食卓に取り入れる提案を行い、生活者の行動変容を伴う社会実装を推進しています。これに加え、「ユーグレナ GENKI プロジェクト」による海外での栄養改善支援など、農と食の取り組みをグローバルな社会課題解決へと広げている姿勢も、当社の大きな特徴として併せて高く評価されました。



このように、技術開発を、農業の現場や食の価値、国際社会へとつなげ、「食を通じて人と地球の健康を同時に良くしていく」という方向性を実装の形で示していることが評価され、「アグリ部門賞」を受賞いたしました。

※1 2025年6月3日リリース「ユーグレナ社、サステナブルアグリテック領域初のブランド『いきものたちにユーグレナ』が誕生」
<https://www.euglena.jp/news/20250603-1/>

※2 2025年12月10日リリース「南魚沼産“ユーグレナ育ち”の『ぴかまる』、世界最大級のお米コンクールで金賞受賞！」
<https://www.euglena.jp/news/20251210-1/>

まつえんどん「ぴかまる」特設サイト <https://miwanouen.net/index.html>

■サステナブルガストロノミーと本アワードについて

サステナブルガストロノミーとは、環境・社会・文化に配慮しながら、次世代へと受け継がれていく持続可能な食文化を指す考え方です。国連でもSDGs達成に向けた重要な取り組みとして位置づけられており、食材の生産・流通・調理・消費に至るまで、食を取り巻くさまざまなプロセスの中で、天然資源や生態系への配慮、トレーサビリティ、フードロス削減や地域資源の活用、食文化の継承といった視点が重視されています。

本アワードは、こうした考え方を実際に行動に移している取り組みに光を当て、成果の大小だけでなく、その背景にある思想やプロセスまで含めて評価・可視化することで、サステナブルガストロノミーを社会に広げていくことを目指すもので、「新規性」「社会へのインパクト」「食文化への貢献度」の3つの観点から、食・農・ガストロノミー領域において、研究、事業、現場、政策など多様な分野で活動する有識者により、多角的な視点で審査を行っています。

■当社のアグリ事業について

当社は、「新バイオマスの5F」の考え方にに基づき、重量単価が高い順に Food (食品)、Fine Chemical (ファインケミカル/高機能原料)、Feed (飼料)、Fertilizer (肥料)、Fuel (燃料) へ、それぞれ微細藻類ユーグレナを活用することで、サステナブルな社会の実現を目指しています。その中でも特に一次産業に直結する Feed (飼料)・Fertilizer (肥料) をまとめて「アグリ」事業と定義しており、ヘルスケア・エネルギーに次ぐ第三の柱と位置付けています。

当社のアグリ事業では、微細藻類ユーグレナをはじめとする独自素材を用いた機能性飼料・肥料の開発・普及を通じて、一次産業を取り巻く社会課題の解決や生産物の品質向上・生産性改善に貢献することを目指しています。加えて、大協肥糧などグループ会社との連携により未利用資源の有効活用（アップサイクル）を促進するなど、サステナブルな循環型社会に向けた取り組みも行っています。



いきものたちに
ユーグレナ
euglena for the earth



2025年にはアグリ領域初のブランド「いきものたちにユーグレナ」ならびに当社独自の認定制度「ユーグレナ育ち」を発表。既に水産・畜産・農業などの各方面から、「ユーグレナ育ち」に認定された生産物が続々登場しています。

今後も微細藻類ユーグレナの機能性研究を一層深めていくと共に、新たな商品開発や普及活動を積極的に推進することで、持続可能な一次産業の実現に向けて取り組んでいきます。

<株式会社ユーグレナについて>

2005年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の食用屋外大量培養技術の確立に成功。「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」をユーグレナ・フィロソフィーと定義し、微細藻類ユーグレナ、クロレラなどを活用した食品、化粧品、飼料、肥料等の開発・販売、バイオ燃料の製造開発などの事業を展開。2014年より、バングラデシュの子どもたちに豊富な栄養素を持つユーグレナクッキーを届ける「ユーグレナ GENKI プログラム」を、継続的に実施している。

<https://euglena.jp>